

本部会調査事業概要と中間結果報告

AXIES/ITベンチマーキング部会主査

岡田義広

九州大学・附属図書館付設教材開発センター・センター長

サイバーセキュリティセンター・副センター長(兼任)

情報基盤研究開発センター・兼任

未来デザイン学センター・兼任

教育改革推進本部・教育方法教材開発部門・部門長

システム情報科学府情報学専攻・担当



九州大学
KYUSHU UNIVERSITY

1. EDUCAUSE CDS サーベイ翻訳業務
2. 本部会調査事業
 - 2.1 オープンソース・オンラインサーベイシステム (LimeSurvey)の導入
 - 2.2 調査項目の検討
 - 2.3 今後の予定

1. EDUCAUSE CDSサーベイ翻訳業務

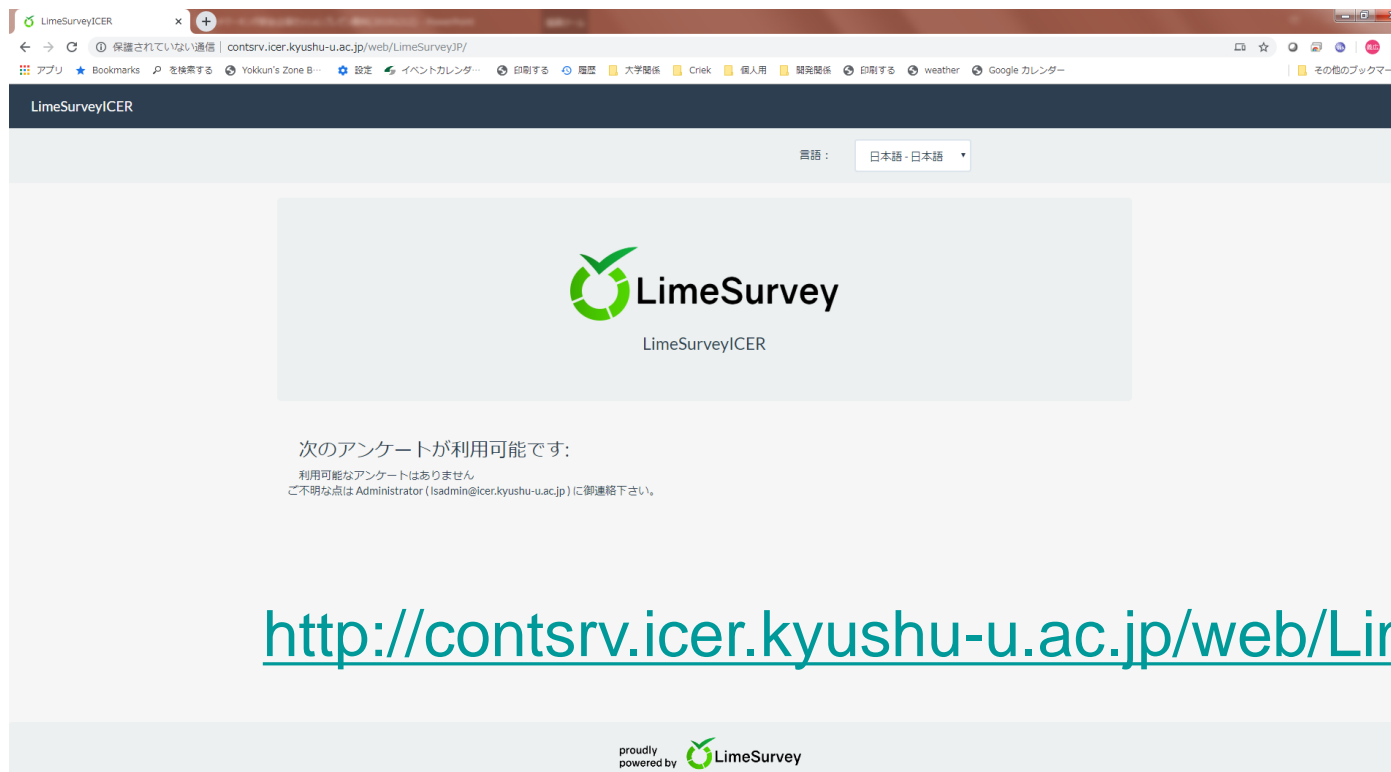


- ・2013年に本部会の活動の一つとしてEDUCAUSE CDSサーベイの翻訳業務を九州大学で担当した。
- ・その後主査の交代等により、本部会の正規業務として継続していなかった。
- ・2018年度年次大会にて、この翻訳業務の継続について要望が出された。
- ・CDSサーベイ項目の著作権はEDUCAUSEにあるため一般公開は不可である。
- ・2019年度は、九州大学で行ったEDUCAUSE CDSサーベイ翻訳版を希望があった大学へ提供した。
- ・来年度以降も、当面は九州大学が担当して、EDUCAUSE CDSサーベイ翻訳版を希望がある大学へ提供する(例年8月末までに翻訳を完了)。

2. 本学会調査業務


2.1 LimeSurveyの導入

昨年度末に、オープンソースのオンラインサーベイシステムであるLimeSurveyを、九州大学附属図書館付設教材開発センターが管理するサーバに導入した。




contsrv.icer.kyushu-u.ac.jp/web/LimeSurveyJP/

言語: 日本語・日本語

 LimeSurvey
LimeSurveyICER

次のアンケートが利用可能です:
利用可能なアンケートはありません。
ご不明な点は Administrator (sadmin@icer.kyushu-u.ac.jp) に御連絡下さい。

proudly powered by  LimeSurvey
Free Online Survey Software - Free & Open Source

<http://contsrv.icer.kyushu-u.ac.jp/web/LimeSurveyJP/>

2. 本部会調査業務

2.2 調査項目の検討

- ・学術情報基盤実態調査「1.組織、運営体制」は、CDS「01.組織・人員・経費」に対応
- ・学術情報基盤実態調査「2.学内LANの整備状況」および「3.ネットワーク装置等整備状況」は、CDS「02.通信基盤サービス」に対応
- ・学術情報基盤実態調査「4.教育への活用」は、AXIESの「高等教育機関におけるICTの利活用に関する調査研究」に含まれる
- ・学術情報基盤実態調査「5.セキュリティ」は、CDS「07.情報セキュリティ」に対応
- ・学術情報基盤実態調査「6.高速計算機」は、CDSに該当なし
- ・学術情報基盤実態調査「7.クラウドの運用」は、CDSに該当なし、クラウド部会で調査事業の検討がある？
- ・学術情報基盤実態調査「8.課題」は、CDSに該当なし

2. 本部会調査業務

2.2 調査項目の検討

CDS 2019翻訳版をベースに文科省学術情報基盤実態調査の項目を含めて本部会の調査項目を決定

(案)

- A.「01.組織・人員・経費 + 02.通信基盤サービス」、
- B.「03.情報システムとアプリケーション」、
- C.「04.デジタル能力-分析サービス」+ 「05.デジタル能力-災害復旧と事業継続」+ 「06.デジタル能力-学習技術サービス」+ 「07.デジタル能力-情報セキュリティ」+ 「08.デジタル能力-学生成功技術」

(試行調査のため赤字を除く?)

a. 学術情報基盤実態調査—調査項目



1. 組織・運営体制

1. 情報戦略の策定状況、2. コンピュータやネットワークの管理・運用の実務を行う主たる組織、3. 業務の外部委託の状況

2. 学内LAN(学内ネットワーク)の整備状況

1. 学内LAN、2. 対外接続、3. 無線LAN、

3. ネットワーク装置等整備状況

1. ネットワーク装置等の整備状況、2. パソコンの整備状況

4. 教育への活用

1. 情報リテラシー教育、2. ネットワークを介した遠隔教育、3. 講義のデジタルアーカイブ化

5. セキュリティ

1. セキュリティ対策の実施状況、2. 認証基盤の構築

6. 高速計算機

1. 保有及び利用状況、2. 設置状況

7. クラウドの運用

8. 課題

1. 組織・人員面、2. 経費面、3. 施設設備面

b. Core Data Service—調査項目

(2019年度調査分→2018年度対象)



01 組織・人員・経費

Q1-3.最高IT管理者/身分、Q4.IT関連問題、Q5.技術採用、Q6.サービス提供、Q7.会計年度、Q8.中央IT財源、Q9.学生の技術料、Q10-12.中央IT支出、Q13.IT分野における中央ITの支出額、Q14.中央IT人員、Q15.IT分散化、Q16.マルチキャンパスシステム/地区、Q17.アメリカ外の組織、Q18-19.補足情報、Q20-23.フィードバック

02 通信基盤サービス

Q1-2.通信基盤サービス、Q3.通信基盤技術の展開、Q4-6.ネットワーク管理、Q7.有線ネットワークのサイズとスコープ、Q8.無線ネットワークのサイズとスコープ、Q9-10.ネットワークのサイズとスコープ(その他)、Q11.利用可能な帯域、Q12-13.ネットワークアクセス、Q14-16.寮向けサービス、Q17.電話、Q18.携帯電話、Q19.緊急通知システム、Q20.ビデオサービス、Q21-22.補足情報

03 情報システムとアプリケーション

Q1.ITシステム、Q2.ITシステムの詳細、Q3.ITシステムの分析能力、Q4.ITシステムのアップグレードと更新計画、Q5.ITシステムの製品、Q6.人事情報システム、Q7.人事情報システムの詳細、Q8.人事情報システムの分析能力、Q9.人事情報システムのアップグレードと更新計画、Q10.人事情報システムの製品、Q11.財務管理システム、Q12.財務管理システムの詳細、Q13.財務管理システムの分析能力、Q14.財務管理システムのアップグレードと更新計画、Q15.財務管理システムの製品、

b. Core Data Service—調査項目

(2019年度調査分→2018年度対象)



Q16.施設管理システム、Q17.施設管理システムの詳細、Q18.施設管理システムの分析能力、Q19.施設管理システムのアップグレードと更新計画、Q20.施設管理システムの製品、Q21.企業システム、Q22.企業システムの詳細、Q23.企業システムの分析能力、Q24.企業システムのアップグレードと更新計画、Q25.企業システムの製品、Q26.研究管理システム、Q27.研究管理システムの詳細、Q28.研究管理システムの分析能力、Q29.研究管理システムのアップグレードと更新計画、Q30.研究管理システムの製品、Q31-32.補足情報

04 分析サービス

Q1.分析サービスの成熟度、Q2.分析サービス技術の展開、Q3-4.補足情報

05 災害復旧と事業継続

Q1.災害復旧の成熟度、Q2.事業継続サービスの成熟度、Q3-4.補足情報

06 学習技術サービス

Q1.学習システムの成熟度、Q2.学習システムの展開、Q3-4.補足情報

07 情報セキュリティ

Q1.情報セキュリティの成熟度、Q2.情報セキュリティ技術の展開、Q3-4.補足情報

08 学生成功技術

Q1.学生成功技術の成熟度、Q2.学生成功技術の展開、Q3-4.補足情報

2. 本部会調査業務

2.3 今後の予定

今年度中に試行調査を実施

- 1) 12月末までに調査項目を決定
- 2) 1月末までにLimeSurveyに質問項目の入力
- 3) 2月末までを回答期限とし調査の実施
- 4) 3月以降、回答状況・データの分析、報告書作成
- 5) 来年度へ向けて、調査項目・調査方法の修正

